



第 21 号

発行

富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地  
 電話(0545)55-2851  
 (0545)55-2852  
 FAX(0545)53-4633

# 祝 全国消防操法大会 優良賞獲得!!



## 富士市消防団長 就任の挨拶

団長 鈴木 正美

平成二十二年七月一日より第十八代富士市消防団長に就任いたしました。団長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

消防団員の皆様方には、常日頃より消防行政にご理解をいただき日夜を問わず献身的にご協力をいただきまして、心から厚く御礼を申し上げます。

また、消防活動を行っていく中で、ご家族の皆様へ深いご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。次第であります。

さて、消防団の使命である火災や風水害など、各種災害から富士市民の生命、身体及び財産を守るため、消防団は、常備消防と協力する事はもちろん、自ら考え計画し訓練をするとともに、より積極的な消防団活動を推進し、市民の安全安心の確保に努めていかなければと考えております。

全国的に消防団員数が減少していますが、富士市消防団も定員を約百名下回っているのが現在の状況です。各分団で町内会へそして友人等に働きかけていただいておりますが、なかなか効果が現れていないのが悩みのたねであります。どうすれば消防団に入団してくれるか、訓

練が多いという声も聞きますが、今の訓練をやめてしまったら様々な災害において対処できなくなります。

「訓練とは、目的を確立し、災害防衛のための基礎を作ることです。」

若い力を消防団活動で発揮していただく事は、地域の防災力向上にも効果的です。

消防団は、地域防災の中核的な存在であり地域の安心、安全を確保するため大変重要な組織です。ぜひ多くの皆様に消防活動に対する理解を深めていただき、消防団への加入をお願いしたいと思います。

昨年を振り返りますと、第二十二回全国消防操法大会にポンプ車の部に初出場し、みごと優良賞を獲得することが出来ました事に、第一方面隊、第一分団の皆様へ、誠にありがとうございます。

選手の皆様には、人一倍の努力があり、選手たちのサポートをしていただいた大勢の団員の皆様のご支援の賜物として深く感謝しております。

富士市消防団は、これを契機にますます精進を続け、自らの地域は自ら守るという郷土愛護の精神と消防使命の達成に向け、市民の皆様方のご支援とご協力をいただき、より一層元氣のある団に、そして明るい消防団を目指してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 栄光の架け橋

第一分団 班長 豊島 大輔

十二月十二日愛知県蒲郡で、一年に一度行われる「消防団の甲子園」とも言われる第二十二回全国消防操法大会に静岡県代表として富士市消防団ポンプ車操法の部指揮者で出場しました。数年前後輩たちがやはりポンプ車操法の部で県大会三位に入賞したが、もう少しで優勝できる。そして全国へ行きたいと強く

思った。

当時第一分団のポンプ車も新しくなり、共に夢を追いかけて訓練し続け約三年…

大会当日、同じ思いで全国から集まった都道府県代表達全員が、大きなプレッシャーと期待を背負った操法は、気迫溢れていた。大失敗した選手達、完成度高い選手達、どの消防団も終わった後は、慰めあい健闘をたたえあえ、絆をまじかに感じた。富士市消防団も完璧な操法だったとは言えないが、「お疲れさん」良かったよ：結果も出ていないのに、泣いてくれた人もいた。

我が隊が目指した全国制覇には及びませんでした。が、優良賞を獲得することが出来た。これは富士市消防団初出場と歴史的な第一歩は誇りに思うがしかしながら正直悔しい、でもこれまで培った団結力・連携・絆は今後全国大会を志す者の糧となり、消防団活動、災害対策に置いて活かされるでしょう。

最後に一言、今までご支援ご協力そして応援して下さいました多くの方々へ改めて感謝致します。長い間本当にありがとうございました。そして共に訓練してきた選手達、「ありがとう」





# 富士市消防団訓練礼式 並びに消防操法訓練大会

H22.5.30

富士市公設地方卸売市場 駐車場

## 富士市訓練大会

第二十四分団 班長 井土 耕治

平成二十二年五月三十日、富士市訓練大会が行われポンプ車操法の部で優勝する事が出来ました。これは、二十四分団初の快挙であり、第六方面隊、指導員の皆様のご支援のおかげと、心から感謝しております。

今回、私は指揮者をやる事になりましたが、私以外の選手は皆、操法大会が初めてという全くのシロート集団です。その為、訓練も例年より早く1年前からスタートし何回も同じ事を繰り返しながら、少しずつ確実に憶えていき本番に臨みました。

本番では、皆緊張していましたが、各々が日々の訓練の成果を十分に発揮する事が出来、本当に良かったと思います。

今後は、富士市代表として支部大会を目標に訓練に励んでいきたいと思っております。  
これからも、皆様のご支援をよろしく御願います。



## 小型ポンプ操法優勝

第二六分団 班長 菊池 誠

やっと優勝出来ました。今回の選手は、過去にポンプ車操法に於いて三回は経験しているメンバーでした。

指導員の方々による二ヶ月間の指導のもと、訓練に熱が入り、各選手間ではへらへら口を叩きながらも優勝を目標にやってきました。過去の悔しさも経験し、やっと優勝出来たことは、私達は無論、分団、方面隊にとつて嬉しい限りです。

今回の選手編成は、同じ会社関係に属するメンバーと言う事もあり、会社にて、社会貢献ボランティア活動を積極的に行なっている社員として八名が、消防団員で活躍していることが報告されました。

最後に、各方面隊の方々のご協力と、指導員の方々の熱心なご指導に感謝致します。

ありがとうございます。



## 二十一人の勲章

第二十五分団 分団長 石川 裕

耳を疑った。同時に「うれしい」と「終わった」と言う安堵感が頭の中を交差した。

年明け前の十二月から自主訓練を開始、公設市場での公式の訓練に入る時は、選手達は「流れ」と「動作」が出来ていたが、指揮者である自分は、号令間違い、指揮位置の間違いなどで選手達に大変な迷惑をかけ信頼関係が薄れていく感じがした。後半に入ると選手達は上位入賞を狙っている事が感じられて、その気持ちも裏切つては、選手また第二方面隊全分団に申し訳ないと言う気持ちが先走り寝付かれぬ夜が続いた。

刻々と日が過ぎていく中、焦りが日々増していった。「落ち着け」と自分に言い聞かせました。大会当日の日が来て、どの隊の選手達もいよいよ緊張な顔である。式も順調に進みよいよ本番です。自分の出場は、二番目であるが、前の隊を見る余裕などなく頭の中で号令の復習をした。そして番が回ってきた。

準備線に入り大きく深呼吸、開始の合図が鳴り、号令をかけ申告位置に走り、申告を終え、向きを変えて目に入ったのは多くの団員又応援する家族の多さに圧倒されました。

指揮位置に走りながらまた一呼吸、指揮位置に入り号令をかけ選手達のメリハリのある各個訓練、気持ちのいい動作に自分も負けまいと、号令をかける。

流れも順調に進み分列行進も終わりホットしたのか、最後の号令をかける位置へ走った瞬間、停止位置を通り過ぎてしまったが、気付くのが早くすぐ戻り号令をかけ隊を止めたが最後で失敗してしまいました。

選手達に申し訳ない気持ちで全種目終わるまで落ち着かなかった。あの失敗が

どの位減点になるか?

しかし発表を聞いて選手達が自分のミスカバーしてくれたのだと感じた。その後第一方面隊の規律の優勝は二十数年ぶりと言われた時一層の喜びが増してきた。

自分の消防団人生で一番大きな誇りある勲章です。



### —平成23年度富士支部消防団員 消防操法及び訓練礼式査閲大会—

日程：平成23年7月3日(日)  
予備日：7月10日(日)  
場所：富士市公設地方卸売市場駐車場

### —第33回静岡県消防操法大会—

日程：平成23年9月11日(日)  
予備日：9月18日(日)  
場所：静岡県消防学校



### 上田市消防団ポンプ 操法大会視察

団本部指導部員 稲葉 朗宏

三月十四日、県消防学校に於いて、長野県上田市より大・小型ポンプ操法の考案者で在られる酒井昭平先生と上田市消防団より福澤副団長及び第十六分団の操法要員の皆様が来静されました。午前中は酒井先生の講義、午後より実技訓練を受講しました。

その縁で、六月十九・二十日の両日で、山本前団長、植屋副団長以下団本部指導員三名にて、上田市消防団ポンプ操法大会を視察して来ました。

十九日の午後到着し、そのまま大会会場を視察、前日の雨で増水した千曲川の河川敷には、早朝より大勢の団員が和団団長の下、汗だくになりながら、翌日の大会に向け、会場作りをしていました。

そして、我々が到着するなり、笑顔で元気な声での挨拶に我々も約五時間の行程の疲れが吹き飛ばさ思いました。

さて、大会当日、午前七時三十分より小型ポンプ操法二十八隊、ポンプ車操法十八隊の熱戦の火蓋が切つて落とされました。我々も前もって有力チームの情報を得て五台のビデオカメラを駆使して撮影しました。そして、ファインダー越しに見ている、すばらしい操法を見せていただきました。

その中で、一番すばらしいと思っただのは、上位チームも下位チームもホースの展張及び礼式の上手さでした。タイムの掛かっている時間のスピードそして掛かっている時の節度など、メリハリのある大変すばらしい操法を見せて頂きました。最後に私なりの操法とはですが、「火災防衛が安全かつ迅速に行われる方法」だと思います。



### 新入団員教育を終えて

第三十分分団 団員 小澤 克行

「五十歳にして新入団員？」と周囲から失笑されながら第三十分分団に入団したのは、昨年の十月日です。

長く地域青年団として「地域社会への貢献を考えさせられた私にとって消防団はまさにその象徴であり、踏み込むべき領域と考えてきました。活動する分団の皆さんは幼少時代から「羽目を外した時期を含め」熱く係わった先輩方から後輩達までのスラシイ人達なのですから！

入団後は小池分団長始め諸先輩方から優しくご指導戴き、馴染めてきた頃に新入団員教育のことを伺い緊張した気持ちになりました。

いよいよ四月二十五日、真夏日のような新入団員教育の当日、佐野部長の電話に助けられながら公設卸売市場へ向かいました。同じ分団の愉快な仲間三名と会場へ入るとピンと張った空気に圧倒されました。



消防団長の挨拶では消防活動への誇りと責任感、私達への期待感を感じました。講義では消防団の組織と活動、役割と責任、有事の際の処遇と保障制度に至るまで体を張った活動に対する社会的な誠意を感じる事ができ決意を新たにしました。実務訓練では礼式から小型ポンプ操法やポンプ車の説明と操法等々ユニフォームを交えながら丁寧に指導戴きましたが、改めて難しさと訓練の必要性を思い知らされました。また、礼式訓練を見学させて戴き、指導員の皆さんの模範演技に費やした時間と努力の大きさを想い、身が引き締まる気持ちと共に心の中で思わず敬礼をしてしまいました。

最後に受講者最高齢として修了証を戴いたことを糧に、責任の重さを真摯に受け止め地域社会のお役に立てるよう頑張ります。

### 新入団員教育を終えて

第三十分分団 団員 鈴木 秀城

四月二十五日、公設地方卸売市場にて新入団員教育が行われました。十三分団からは、私を含め三人の新入団員が参加しました。

又、友人が十八分団の新入団員として参加していた為、緊張が和らぎました。午前中の講義では、消防団員の責任と心構え、消防団活動の概要を聞くことができ、大変参考になりました。

午後からは、部隊訓練でした。訓練礼式は入団以来、先輩方からご指導いただいていた上、大会の要員として訓練している真つ最中だったので、スムーズに行う事が出来たと思います。

ポンプ車操法については、各部名称と取り扱い方、ホースの延ばし方、巻き方、運び方をご指導いただきました。ホースの扱い方を実際に体験させてい

ただいたのですが、なかなか上手くいきません。

実際の現場で足手まといにならない様に、これからも訓練を重ねなくてはと感じました。

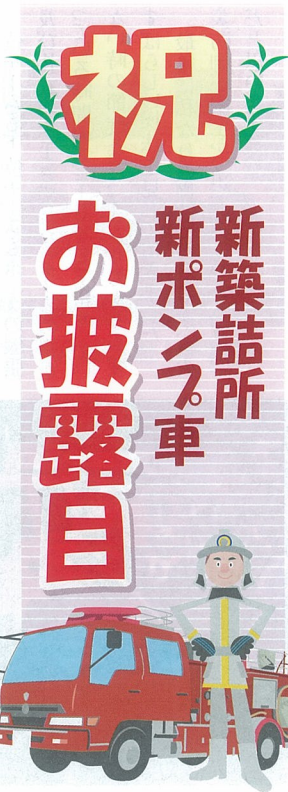
今回学んだことを今後の消防団活動に生かし、少しでも早く先輩方に追いつける様に頑張りたいと思います。

又、昼休みのときに団長にお声を掛けていただきました。

激励の言葉をいただき、ご期待にこたえられる様、精一杯努力していきたいと思っております。







### 富士市消防団 第三分団伝法詰所新築

第三分団 団員 遠藤 祐佐

長年三分団の活動拠点として活躍した上詰所が、場所も建物も新しい詰所へと十二月に移転し、団員一同とても喜んでいるとともに、身が引き締まる思いです。

今年、夜警が始まる時期と引越しが重なり今までにない忙しい師走となりましたが、団員みんなの文句が「うれしい悲鳴」に、そして団員みんなの疲れた顔が「笑顔」にしか見えないほど充実していました。

私が学生時代「入暮らしをスタートする時、いろいろ準備で忙しい中にも、どきどきわくわくする気持ちで、疲れているはずなのに休憩もせず準備をしたのを思い出しました。

新しい場所で新しいスタートを切る。こんな最高の気持ちは滅多に味わえません。

ただ、私は入団してまだ二年弱で、旧詰所での思い出は非常に少ないですが、諸先輩方にとっては慣れ親しんだ旧詰所での活動の思い出も多々あり、感慨深いものがあつたと思います。

今後旧詰所は解体されてしまう為、形としては残っていませんが、団員の心につかりと根をはり記憶に残って行くと思えます。

近隣の方々や、工事業者の方のご協力



### 富士市消防団 第十分団詰所落成式

第十分団 分団長 鈴木 誠

平成二十三年二月二十八日、真新しい分団詰所の引渡しを受け、二月二十日、富士市消防団第十分団詰所落成式が盛大に開催されました。

式典では、富士市長、並びに鈴木消防



### 新消防自動車納車

第八分団 分団長 菊池 奈津男

平成二十二年十一月二十五日、我が分団に新しい消防自動車納車されました。

来年八分団に新車が入るらしいと耳にするようになったので、本当にと半信半疑だった。

正式に決まり、四月頃から仕様の要望等の打ち合わせに入ったのですが、納車後の披露式をやらなければならないことが頭の中で混乱しはじめました。とても大変な事となる事を聞いていましたので、私に出来るのか不安となりました。しかし、やらなければならない。約二十一年に一回しか行わない大事な行事が、私の分団長の時に当たった事を光栄だと思いい意識を高め準備に取り掛かりました。

そうこうしている内に引渡し式の日程が決まりました。

自分の車ではないのだが、わくわくして引渡し式前に「目見たくなり、近くのいすゞ自動車にこそり見に行つて来ました。その瞬間、感激でした「カッコイイ」思わず興奮してしまひ分団の仲間に電話をしてしまつた。確かに二十年前の車と現在の車では比べ物にならない進歩だが、それにしてもカッコイイ消防車だ、外観しか見られなかつたので引渡し式が楽しみでした。

引渡し式当日は、号令の大役を仰せつかり、緊張でしたが声も出て号令を掛ける事ができました。

これから最新鋭の消防自動車の機能を十分発揮出来る様に訓練を重ね地域の為に活用して参りたいと思えます。そして地域に密着した頼れる消防団になれるよう頑張ります。

本当に関係各位の皆様ありがとうございます。

### 新ポンプ車配備

第二十四分団 団員 石井 秀人

平成二十二年十一月二十五日、第二十四分団において新ポンプ車が納車配備されました。

二十一年に二度の新車両配備とのことで、旧ポンプ車と長く共に活動してきた団員にとっては私のような日頃の浅い団員とは違う特別な思いがあると思えます。

その中で今回配備された団員待望の新ポンプ車は、旧ポンプ車よりも優れた性能を持ち、初めて実物を見て、性能、操作方法の説明を受けた時は、その素晴らしいさに感動したのを覚えています。感動と同時に、団員一同早く操作方法を習得し、このポンプ車で地域の安全を守つていけるよう、活動を頑張つていきたいと思えます。

最後に私は、今年このポンプ車で操縦支部大会に三番員として出場します。

新ポンプ車の性能に負けぬよう、日々の訓練に励み、支部大会、さらには県大会優勝を目標に頑張つていきたいと思えます。





出初式

第十八分団 団員 山本 友和

松の内の賑わいも過ぎて、寒さも一段と厳しく感じる、平成二十三年一月九日晴れ渡る空の下、富士市消防出初式が開催されました。

出初式と言えば、真つ先に「寒さ」が頭に浮かびますが、今年は比較的風もなく温かく感じられました。式典は八時半より始まりました。富士市消防団の全車両、全団員が揃った光景はとても迫力があり壮大なもので、私もその一員であることに身の引き締まる思いで整列し、式典に参加させていただきました。式典では、多くの来賓の方々よりご祝辞を頂き、部隊観閲と進行していき、その後、分列行進、演技、斉放水と式は流れていくのでした。

頂いたご祝辞の中で「互助・共生の精神」というお言葉に私は大変感銘を受けました。入団してから僅か四年間ではありますが、消防団の一員であるからこそ経験出来た事や学べたことが大変多かったように感じます。昨年度は訓練大会への参加もあり、惜しくも入賞は果たせなかったものの、その過程では練習などを通じ、選手同士、団員同士が励まし合い技術を伝承していくなかで、今まで以上の信頼関係が築けたと思います。お互いが助け合い、日ごろ支えてくれている地域の為に、私達に出来ることはなにかを考え日々の消防活動に取り組みたいと思います。

まだまだ、寒さが身にしみる日々は続き、夜警も折り返しを迎えようとしています。この出初式で高められた士気を一年間維持し、火災のない安全な地域を目標に今後の消防団としての職務を遂行していきたいと思えます。



カラーガード隊 隊員募集中



二十年目の出初式

第六分団 団員 田中 勉

私が消防団に入団して二十年、出初式も二十回目を迎えました。私にとつての出初式は消防団員としての第一歩でした。現在の出初式は市役所の駐車場で行われていますが、二十年前は青葉通りを使用していたのでした。

青葉通りでの式典は横長の隊列のため、今以上に市民や来賓の方々の間近での整列となっておりました。今も昔も変わらぬ寒さですが、青葉通りでは建物や木々の陰になると背中にカイロを貼ったり足裏にカイロを入れてもまったく温まらず、寒くて寒くて身体が震えるほどでした。

式典内容は今も昔も変わりはありませんが、昔は今よりもかなり時間をかけ、午前中いっぱい青葉通りを通行止めにしての式典でした。過去二十回の出初式は寒い日、暖かい日と色々ありましたが、回数を重ねるごとに寒さに耐える事に慣れ、市長や来賓の方々の祝辞が耳に入るようになり、消防団員として自覚が芽生え、役目の大切さがわかってきたように思います。

二十年の間にはラッパ隊や様々な役をさせて頂き、色々学ばせていただきました。これからの初心を忘れずに頑張りたいと思えます。

平成23年 富士市消防出初式 写真コンテスト 優秀作品



市長賞「水面鏡」 野口 勝子



消防長賞「富士が見ている」 山本 拓史



防火協会賞「一齐放水」 荻田 長蔵



議長賞「兄弟と」 山口 庸彰



消防団賞「火事だ 急げえ〜」 平野 岩夫





防火ポスター優秀賞受賞者(小学生)

# 第24回 消防まつり Fire fighting Festival



防火ポスター優秀賞受賞者(中学生)

## 消防まつり

第十五分団員家族 望月 夕貴子

十月十四日、消防まつりが盛大に行なわれました。

我家の主人は、仕事と重なる事が多く消防活動に協力できない事が多々あるので、家族として何か協力できないかと考え、富士ブランドの紙バンドを使用し、かごバックを編んで販売させていただきました。

前日、詰め所にかごバックを持参すると分団員の方々が、当日販売するおでんの仕込み、みかんの袋詰めなどを分担して準備をしている最中でした。分団員の方々の結束力をまじかで感じ、日頃の消防活動にも役立つというんだと改めて感じました。

当日、かごバックの売れ行きが心配になり早めに到着すると、すでに団員の方々により設置されていました。時間がたつにつれてお客さんの数も増え、かごバックも二時間で完売となりました。

一緒に連れて行った娘もめだかすくいに夢中になり、楽しい一日となりました。今回の消防まつりは、家族として微力ですが協力できたこと、とても良い経験になりました。

団員の皆様方におかれましては、地域の防災、防火活動にこれからも頑張ってくださいたいと思います。



## 消防まつり

第五分団 団員 渡辺 一生

秋の火災予防運動が実施され、その行事の一環として十月十四日に消防まつりが行われました。

富士市消防団三十二個分団と消防本部、協力団体の参加による各種模擬店の出店、消防音楽隊・カラーガード隊、幼稚園等による演技、そしてレンジャー体験等など、楽しい催しがいっぱい、今回も大勢の来場者で賑わいました。

我々五分団の模擬店の商品はすべて採算度外視、安くて美味しいと大評判で毎年買いに来られる人が多くいます。

元分団長が前日に詰め所に来てじっくり煮込んだ「モツ煮込み」、北海道上富良野産のジャガイモを使用した「ジャガバター」、小さな子供達に大人気の「ヨーヨー釣り」等、今回も大好評のうちに全商品を売り切ることができました。

各分団が一致団結して出す模擬店。私たちの分団も消防まつりを通じてお互いにチームワーク・仲間意識などが一層強まったように感じます。

今後も一般の人達に消防活動を知って



頂くきっかけとして、より多くの方々に消防まつりに来ていただきたいと思えます。それとともに消防団をより一層理解していただけるよう、我々も消防活動に努めていきたいと思います。

## 消防まつり

第二十三分団 団員 三浦 孝

私たち二十三分団では、毎年ラーメン、ジュースの販売をしています。私は、四年連続幹事をさせて頂きました。地元地区の夏祭りでもラーメンを販売しています。今回は、今までの経験を生かしスープ、具材、器材を少し変えてみました。見た目、味、今まで一番の出来だったのではないかと思います。

依頼があれば出前もする、本格的元祖、消防ラーメンです。毎年の事なのですが、ピークは突然やってきます。それは、投げ餅終了後です。いきなりの長蛇の列、麺が次々と湯気の立った寸胴の中へ、並んだ器にスープ、その中へ上がつた麺、今度はチャーシュー、メンマ、なんと、ネギ、海苔、次々と出来上がります。二十三分団の連携プレーです。ジュース屋も子供に大人気とても、好評です。

お昼には、約四〇〇食完売でした。忙しさのあまり、分団の中で食べる事が出来なかつた人が、何人もいました。二週間ほど前から、コッソツと看板製作、企画、食材の準備をし、完売した時には達成感で一杯でした。忙しい中、幹事以外の方々の協力もあり、当日は、奥様方のお手伝い等を頂き、大変感謝しています。

また、出店コンクールでも、なんと三年連続賞を頂きました。来年も賞を頂ける様に、パフォーマンスアップし、頑張りたいと思います。仕事の折り合いを付けながら、とても大変ですが、私は消防まつりが大好きです。

もうすぐ夜警も始まります。特に冬は、火災の発生が心配されます。消防団員として気を引き締め夜警巡回し、地域の皆様の期待に沿えるように頑張りたいと思います。

最後に、火の用心!!



### 三十分団活動紹介

第三十分団 分団長 小林 秀明

読者の皆様のお目に止まり、読頂けますか心配しながら筆を進めます。消防団はご承知の様に何を置いても団員の確保が要だと考えています。

私が昭和六十二年に入団した当時は区毎に団員数が決まっていたと思いますが、現在は区毎の団員定数が確定ではありません。しかしながら当分団は二十三名で活動をしています。

新入団員募集の為に地区定例会などで時間を頂き、被災後の復旧時にはコミュニケーションが取れるまでに時間を要するに對し消防団員は地域で既に信頼関係を持っていることや、消火活動では危険が及ばぬ様に訓練を通じて操法を習得している事などを説明しています。しかし残念ながら九月末現時点では実績に結びついていません。

入団適齢期の方が消防団に興味を持つきっかけになればと地元夏祭りに模擬店を開き私自慢の団員を紹介しながら交流を図っています。

先程も申しした通り消防団活動の原動力は団員です。様々な理由で入団できない事を伺いますが過剰な干渉はせず程好い人間関係を保てるよう配慮しながら新入団員募集を推進して行きます。

改めて消防団だより二十号を再読しますと優秀な結果を出している訓練の様子や、先輩方を始め御家族を含めた皆様の活躍が手に取る様に伝わってきます。



### パパの仕事は消防？

第九分団 須津小学校 田中 すずな

ブルブルと、パパのけいけいが鳴りました。富士市内の火事のじょうほうのメールで

す。パパはけいけいを見て九分団ではないと安心した顔になります。わたしもほっとします。

パパはわたしが生まれる前から消防団に入っているそうです。今年は大がたポンプのしきしやをやりました。夜になると「指」と書いたゼッケンをつけて、出かけているのでおねえちゃんと弟はいつもわらっていました。

パパはくんれんのためによく出かけていたの、たまに夜いえにいと三才の弟が「パパ今日は消防いかないの？」と聞きます。

弟に「パパのお仕事は？」と聞くと「パパは消防」と言うので、うち園のお友だちは消防士だと思っているみたいです。今まで消防でバーベキューをしたり、ディズニールランドに行ったり楽しい事もたくさんあります。

わたしはこれからもちいぎの人のためにがんばってほしいと思っています。

## 消防団員募集

参加のしかた、色々あります。

働くまちを守りたい。

安心あふれるまちにしたい！

## Welcome! 消防団

入団概要

消防団の入団資格は、市町村ごとに条例で定められていますが、一般的に、18歳以上で、その市町村に居住しているか、または勤務している人なら男性でも女性でも入団できます。

詳しくは、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町役場、または最寄りの消防署までお問い合わせください。

消防団の待遇は

- 公務災害補償: 消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。
- 被服の貸与: 消防団活動に必要な被服が貸与されます。
- 退職報償金: 一定期間以上勤務して退団した際には、退職報償金が支給されます。
- 表彰制度: 職務にあたって功勞、功績があった場合には、表彰されます。

消防団のホームページはこちら! <http://www.fdma.go.jp/syobodan>

消防団の最新情報ははこちら! <http://www.fdma.go.jp/syobodan/magazine>

お問い合わせ先

総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency



### 子供達の笑顔の為に

富士市幼年消防クラブ 会長 井澤 昭

私は、昭和六年東京に生まれ、富士市には、疎開で旧吉原町の昭和通りの家に来て以来の御縁です。

現在、富士リズム幼稚園理事長として子供達と共に生活する毎日です。

昭和四十七年に設立以来、「早寝、早起き、朝ごはん」をご家庭にお願いし、正しい生活リズムを身に付けた子供達は卒園後も小学生から社会人まで活躍し、大変うれしく思います。

思い返すと、これまで多くの人と出会い、支えて頂いたおかげで今日の自分があります。感謝の気持ちで一杯です。

旧制富士中時代の心の友にも恵まれ、毎年旧交を温めています。

当園は幼年消防クラブ発足当初より参加させて頂き、子供達にわかりやすく防火、防災の心を教えています。

かつては「マッチ一本火事の元」、今は「百円ライター一個火事の元」幼児はまだ火のこわさを知りません。同時に火を大切に、

上手に使う事も伝えていきます。消防の皆様には毎年、花火教室や消防まつりにおける鼓隊演奏で大変お世話になっています。制服の似合う皆様は子供達の憧れです。

これからもご指導の程、よろしくお願い致します。駿河湾を震源とする東海地震は近い将来必ず起きます。大きな揺れの後、私たちは、「火を起さない」という意志を持ち、その日に備えることが肝要と存じます。

今後は、子供達の笑顔の為、御家族や地域の皆様の御協力頂いて教育の道を進んで致します。

結びに、消防に携わる全ての皆様の御健勝と御多幸を心より御祈り申しあげまして、筆をおきます。ありがとうございました。

## 富士市幼年消防クラブ 加盟園

- 富士リズム幼稚園
- わかば幼稚園
- 富士光明幼稚園
- 富士保育園
- 松岡保育園
- 曙 幼稚園
- 神戸幼稚園
- 藤田幼稚園





消防団の思い出



富士市まとい会長 芝田 秀雄

会の設立や行事のことは、前会長の渡井公平さんが詳細に第二十号消防団だよりに書いてくださいましたので、私は省略させていただきます。

富士市消防団の皆様、日夜のご活動ご苦労様です。まとい会の百二十二名の方々、消防防災活動にご協力ありがとうございます。

この消防団だよりには、私自身深い思い出があります。それは、平成四年五月発行の消防団だより編集長を努めさせて頂いたことです。その当時は、現在のような立派なものではなく、紙質も悪く印刷も良くなく質の悪いものでしたが、編集員が頑張つて原稿集めに努力してくださいました。

昭和三十年頃の消防団のことを思い出してみます。私が入団したのは、昭和三十三年です。当時は、各部落に割り当てがあり、区長が「入り手が無いので、入つてくれないか。」と勧誘に回つておりました。

私事ですが、六歳の時に自宅工場が火災となり全焼したことが脳裏に焼きついて仕事との両立が出来るのか心配でしたが、不幸にして火災にあわれた方たちのお役に、少しでも立てればと思いついて入団しました。

当時の服装は、カーキ色の上下、黒い帽子、サシコの半纏、ゴム長靴でした。それも、先輩の使用した古いものでした。

詰所は、寄付を頂きに回り建設いたしました。訓練は、軍隊から帰つてこられた指導員に厳しく受け、その甲斐あつて規律訓練では、二回県大会に出場することが出来ました。

現在の富士市消防団の発展はめざましいと思います。

県大会ポンプ操法の部で優勝し、第二十二回全国消防操法大会で優良賞を受賞し、全国に富士市消防団の名を知らしめました。

小型ポンプ操法におきましても、県大会で優勝したこと、お慶び申し上げます。

まとい会も研修会を兼ねて、蒲郡の会場に応援に参りました。さすがに県の代表選手たちは、皆優秀でした。

まとい会も今後も消防防災活動に努めて参ります。

分団長紹介

平成22年4月1日就任



第9分団長 鈴木 徹



第7分団長 渡辺 透



第6分団長 川口 国男



第5分団長 渡辺 美明



第4分団長 秋山 秀昭



第3分団長 鈴木 一孝



第2分団長 大村 友味



第30分団長 小林 秀明



第29分団長 松下 和孝



第24分団長 諏訪部 仁



第18分団長 秋山 正富



第16分団長 佐野 博昭



第10分団長 鈴木 誠

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり、団員皆様又、ご家族の皆様より多数の原稿をお寄せいただき厚くお礼申し上げます。

皆様の原稿を記載するにあたり拝読しまして、消防活動に対する切実且熱心な姿勢、家族の皆様への心温まる気持ちなどが伝わってきました。

今年度は、鈴木団長が就任されたこと、富士市消防団が全国消防操法大会に出場し見事優良賞を受賞したこと、その他にも、多種多様な催しが執り行われました。この一年の様子を少しでも皆さんにお伝えできればという思いで、今号も作成しました。

消防団だよりが団員の意識の高揚と団結心が養われることを祈念すると共に、市民の皆様へ消防団活動を少しでも理解して頂き、一人でも多くの消防団員を確保出来るようご協力をいただければと願っています。

今後も皆様に親しまれる紙面作りにも努力して参りますのでご支援、ご協力をお願い申し上げます。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報誌編集委員会

委員長

団本部 総務部長 小林秀己

副委員長

第 十三分団 部長 千葉和男

委員

団本部 副総務部長 佐藤重孝

第二十五分団 部長 本多信行

第 四 分団 部長 前田和徳

第 十一分団 部長 石川和彦

第二十六分団 部長 齊藤正道

第二十一分団 部長 望月利仁

第三十一分団 部長 佐野幸壽